

保谷小教育目標  
すすんで学ぶ子  
助け合う子  
元気な子

# 保小だより



NO. 462・10月号 西東京市立保谷小学校

令和2年9月30日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

## 心を育てる道徳授業地区公開講座

副校長 飯塚 庫健

先日、9月19日（土）に道徳授業地区公開講座を実施しましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当日の授業参観は全て非公開としました。

そこで、本紙面を使って低学年、中学年、高学年の道徳授業について触れたいと思います。

まず、1年1組の学級では「二わのことり」という教材を通して友達のためにできることについて考えさせ、友達と仲良くし、助け合おうとする実践意欲と態度を育てることをねらいとして授業をしました。子どもたちからは「やまがらさんはひとりぼっちでさびしいなと思うと、いくらごちそうがあってもたのしくない。」「やまがらさんが喜んでくれて、自分も嬉しい。大事な友達だから。」「これからは、友達のきもちを考えて、友達にやさしくしたい。」という発言や感想がありました。

次に、3年2組の学級では「持ってあげる？食べてあげる？」という教材を通して優しい人とはどんな人かについて考えさせ、相手の状況を捉えて親切な行為を行おうとする判断を育てることをねらいとして授業をしました。子どもたちからは「手伝うことも優しいけど、注意するのも優しさの一つだと分かりました。」「本当の優しい人とは、相手のためになるか考えて行動できる人。」「人に優しくするときは、ちゃんと話し合っって相手の気持ちを聞くとよいと思いました。」という発言や感想がありました。

終わりに最高学年の6年3組の学級では「最後のおくりもの」という教材を通して心からの思いやりや親切とはどのようなものか考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てることをねらいとして授業をしました。子どもたちからは「思いやりとは、人間同士の心の支えになる気持ち。」「思いやりとは、人の気持ちを大切に行動に表すこと。」「思いやりとは、相手への感謝や優しさなど、ぬくもりのある気持ち。」という発言や感想がありました。あらためて、子どもたちの心を育てる道徳教育は、1年生から6年生一つ一つの積み重ねを重視して、中学校3年間に繋げるうえで欠かせないものだと再認識しました。全ての学級についてホームページでも掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

本校の教育活動へのご理解とご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 校内研究の取組について 3年生

3年生の国語、特に説明的な文章における学習では、要点をとらえ、対話の中で、自分の考えと同じところや違うところを見付ける子を目指して研究を進めています。

8月に行った説明文の意識調査では、説明的な文章に苦手意識を感じている児童が一定数いることが分かりました。しかし、説明文の学習に難しさを感じながらも、友達と考えを話し合うことで、自分と似た考えを見付け、自分の考えに自信を付けることができたり、自分では思い付かなかった考えに触れて、新たな気付きを得ることができたりすることに、楽しさを感じていると回答する児童も多くいました。

そこで、中学年で必要とされる要点をまとめる力や段落相互の関係をつかむ力、筆者の考えとそれを支える事例などとの関係を捉える力を伸ばしていきたいと考えています。そして、文章を読み取り、理解したことから、感想や考えをもたせ、ペア、グループ、全体交流などねらいに応じた対話的活動の時間を設けることで、それらの考えを深めていけるようにしながら、学習を進めています。

9月の研究授業“れいの書かれ方に気を付けて読み、説明する文章を書くときの工夫を見つけよう”「すがたをかえる大豆」では、次のような手立てを通して、以下のような児童の姿が見られました。

### 工夫① 良さを見付けさせる課題に取り組み、次の学習への意欲につなげる。

説明する文章を書くときの工夫を見つけようという視点で、「すがたをかえる大豆」の文章を読み、様々な課題に取り組みました。その結果、文章全体の組み立て方、写真の使い方、つなぎ言葉の使い方、中心文の位置、各事例の順序や分類の仕方など、筆者の様々な工夫に気付くことができました。最後には、自分が説明する文章を書く際に使ってみたい工夫についてまとめ、次の学習の意欲へとつなげました。本単元での学習を活かし、次の単元では、児童自らが他にもあるすがたをかえる食品の中で好きな題材を選び、それについて説明する文章を書いていきます。

### 工夫② 選択させる課題を通して、自分の考えをもち、他の人の考えとの共通点や違いに気付けるようにする。

中の事例の順序における筆者の意図、工夫へと迫っていくために、「大豆が一番姿を変えていると思うものはどれか」について話し合う活動を取り入れました。選択型の課題にすることで、全員が自らの立場を明確にし、本文中の記述や写真を根拠に、自分の考えをもつことができました。また、対話的活動を通して、色、形、様子の変化、手を加える回数、完成までにかかる時間など、読者それぞれで着眼点や答えが異なることに気付くことができました。

### 【授業の様子】



## 体力向上の取組について

今年度は新型コロナウイルスの影響で、3か月という長い休校期間をはさんでのスタートとなりました。友達に会えず、体を動かす機会も限られていた休校期間。自粛期間中の子ども達の気持ちを考えると、「友達と一緒に思い切り校庭で走ったり、ボール遊びをしたり、運動をさせてあげたい！」という気持ちでいっぱいでした。

しかし学校は再開したものの、現在の状況下では普段通りの体育や外遊びを行うことはできないという現状があります。そこで本校では、文部科学省の示す感染症対策をもとにした体育授業や外遊びを行っています。

体育授業および外遊び後、必ず手洗いをするよう指導しています。水道に並ぶときも廊下に張られたテープを目印に児童間の距離をとったり、昇降口が密にならないよう時間差で休み時間は教室に戻ったり、ソーシャルディスタンスを児童に意識付ける指導をしています。

体育の授業で取り組む運動は、東京都が示している「学校体育運動例」を基にしながら、「低下した体力や運動感覚を取り戻す」ことを目標に考えました。どの学年も個人や小集団で、密集せず距離を取って行える運動を考え、取り組んでいます。例えば低学年ではフラフープを使った体づくり運動や動物の真似をした表現運動、中学年ではバトンを使わず工夫して行うリレー、高学年では徒競走やハードル走、走り幅跳びを行いました。初めはこれまで経験したことがない、友達との距離をとっての体育に戸惑う子がたくさんいました。マーカーで立ち位置を示してあげたり、集合・整列練習を繰り返し行ったりすることで、ソーシャルディスタンスの感覚が自然と身に付くよう指導しています。

久しぶりに力いっぱい体を動かせる喜びが子ども達の様子からひしひしと伝わり、こちらも嬉しくなりました。まだまだ暑さが厳しい日も多く、休校明けで運動感覚が戻っていない子もたくさんいます。休憩時間を長めに設定しながら、無理のない体力作りを続けていきます。

また昨年度に引き続き、家庭学習の一環として運動の習慣をつけることを目指した「ばわーあっぷカード」に取り組んでいます。低学年は長座体前屈や体ほぐし運動、高学年はスクワットや腕立て伏せなど、各学年の発達段階に合わせた運動を設定しています。現在の状況下ですので、お子さんの体力低下が心配なご家庭も多いことと思います。家庭内で体の基礎を作る簡単な運動を毎日継続して行うことで、けがや病気に負けず、生涯にわたり運動を楽しめる身体の素地を築くことがねらいです。無理のない範囲で取り組んでいただければと考えております。よろしくお願ひします。

## 特別支援教育について

保谷小学校では、「特別支援教育」を「一人一人の児童の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うこと」と考えています。障がいの有無にかかわらず、一人一人の児童は必要な時に適切な支援を受けるのが当然であると考えからです。その意味では、特別支援教育というよりは、個別支援教育を目指しているといえるかもしれません。

子供たちの生活・学習・発達上等の課題は多岐にわたり、その内容も程度も多種多様です。担任の配慮で解決する課題もあれば、専門家の援助を受けて継続的に支援を行う必要のあるものもあります。特別支援教育は「特別なこと」ではなく「学校生活の中で何か困っている状況にある子供たちのための教育」です。すべての子供がそれぞれの能力や可能性を伸ばし、成長していくことを目指しています。

お子さんの学校生活などで困っていることや気になることがありましたら、必要な対応と一緒に考えていきたいと思ひますので、担任やスクールカウンセラーにぜひご相談ください。



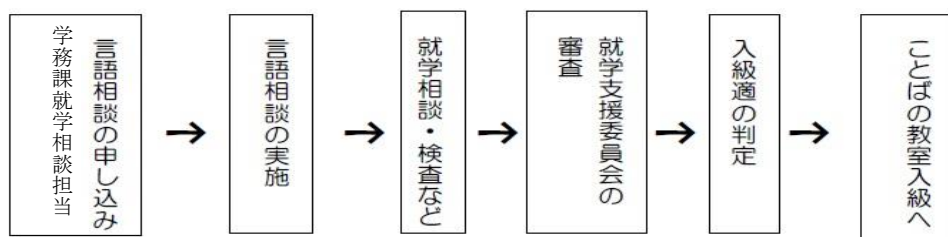
## ことばの教室 えがお

### ★☆発音・話し方調べを実施しています★☆

9校の1年生を対象に、えがおの3人の教員が巡回して発音・話し方調べを実施しています。発音や話し方に課題があった児童には、担任の先生からお知らせがあったことと思います。継続的な改善のための指導が必要な児童には、再検査（言語相談）のお勧めをしています。成長や時間の経過とともに改善する見込みがありそうな場合は、経過観察にして2学期にまた、えがおの教員が巡回して様子を見ます。

### ことばの教室に入るには・・・

指導が必要な児童は、入級して指導を受けることとなりますが、市の言語相談を受け、継続的な指導が必要と判断されてからとなります。その後、面接や検査、就学支援委員会の審査などを経て、入級適と判定されると入級が決まります。



※言語相談の申し込み先が変わりました。

\*各学校へ行って行う発音・話し方調べは、言語相談が必要な児童を発見するために、短時間に簡単な検査しか行っていません。心配がある場合は、発音・話し方調べを待たず、早く言語相談を申し込むことをお勧めします。

## 行事予定

10月 行事予定表					
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	木	秋の読書月間(始) 自転車教室(3) 交通安全教室(4)	16	金	
2	金	4時間授業	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	全校朝会 6時間授業(4~6) 時差登校：前半B・後半Aの週
5	月	全校朝会 安全指導 委員会活動 時差登校：前半B・後半Aの週	20	火	4時間授業(1~4) 5時間授業(5・6) 避難訓練
6	火	教育実習1名(～10/24) セーフティ教室(1・2・4) 尿検査2次	21	水	特別時程6時間授業(1~6)
7	水	特別時程6時間授業(1~6) 歯科検診(4・5・6)	22	木	
8	木	社会科見学(3)	23	金	5時間授業(2~6)
9	金		24	土	体育大会 教育実習1名(終)
10	土	土曜授業(授業公開なし)	25	日	
11	日		26	月	振替休業日
12	月	全校朝会 生活目標発表 6時間授業(4~6) 教育実習2名(～10/30) 時差登校：前半A・後半Bの週	27	火	全校朝会 朝集会時程 クラブ活動 時差登校：前半A・後半Bの週
13	火	尿検査2次追加日	28	水	特別時程6時間授業(1~6) お米の学校(5)5・6時間目
14	水	歯科検診(1・2・3) 特別時程6時間授業(1~6)	29	木	
15	木		30	金	秋の読書月間(終) 遠足(1・2) 教育実習2名(終) セーフティー教室(3) eルール(5・6)
			31	土	